

聴覚特別支援学校の児童ら

バスケット楽しいね

3人制の選手が指導

3人制バスケットボール大会「3×3.EXE PREMIER(スリー・エックス・スリー・ドットエグゼ・プレミア)」の選手が、姫路聴覚特別支援学校(姫路市本町)を訪れ、児童らと交流した。子どもらは、選手に教わりながらドリブルやショートを練習し「楽しい」と笑顔を見せた。

19日に、同大会のリーグ戦が大手前公園で開催されることから、兵庫県を拠点とする「EPIC.EXE(エピック・ドットエグゼ)」の重本和毅選手とフリオ・デ・アシス選手が、雨天時の会場になる同校を訪問した。

バスケットは未経験の児童がほとんどで、ボールをぱきから練習。ボールを上げてキヤツチするまでの間に何回拍手できるかや、両手で持ったボールの上に別のボールを乗せて「ドリブルでは『ボールを強く下に突く』、ショート

基本練習に取り組んだ。

では「腰を落としてからジャンプしながら打つ」とい

うアドバイスを受けながら、汗を流した。

小学部3年の藤井柊生さん(8)は「ショートが決まるとき気持ちいい。体育でもバスケットをやってみたい」と話した。(後藤亮平)



選手に教わりながらバスケットの練習に取り組む児童ら
二姫路聴覚特別支援学校